# Obsidian × AIで実現する長文リサーチ効率化・知識再利用・コード／プロンプト整理のMVP設計

**Summary:** 本ドキュメントでは、ObsidianとGPT系AI（GPT‑5 Proやコード特化モデル）を組み合わせ、**長文リサーチの効率化**、**知識の再利用性向上**、そして**コードスニペット／生成AIプロンプトの整理**を実現する最小構成MVP（Minimum Viable Product）を提案します。WindowsデスクトップとiOSモバイル双方でストレスなく動作し、基本はローカル環境で完結させつつ、必要に応じてGPT APIを安全に活用するハイブリッド構成です。個人利用（<200ノート）を想定し、データ漏洩防止やモバイル制約にも配慮した運用策を示します。

## Architecture（MVP構成 & ハイブリッド運用）

**概要:** 提案MVPは**「Capture → Distill → Link → Reuse」**の一連の知的生産フローを、Obsidianコア機能と最小限のコミュニティプラグイン（3～5個）で実現します。まず、Web記事や論文の内容をすばやくキャプチャ（Capture）し、AIアシストで要約・抽出（Distill）します。その後、自動または半自動で他ノートとの関連付け（Link）を行い、Dataview等で未整理事項を可視化（Surface）することで知識の再利用（Reuse）を促します。以下にMVPの**ローカル優先構成**と、必要時にGPT-5 APIへフォールバックする**ハイブリッド運用**を示します。

* **MVP (Local-first)**: 主要コンポーネントはObsidian本体と少数のプラグインです。例えば、QuickAddプラグインでノートの新規作成やテンプレート適用を自動化し、Templaterでメタデータや日付を埋め込みます。これにより、情報収集から整理までを**オフライン中心**で完結できます[[1]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=Obsidian%2C%20but%20it%20requires%20a,plugin%3A%20the%20QuickAdd%20plugin)[[2]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Yep%21%20I%20use%20it%20as,works%20perfectly%20fine%20for%20me)。検索やリンク発見にはObsidian標準の全文検索とバックリンク機能を活用します。200ノート規模であれば組み込み検索で十分快適ですが、後述のように必要に応じローカル埋め込みモデルでの類似検索も検討します。
* **Hybrid fallback (GPT API連携)**: 要約生成や高度な関連抽出には、プライバシーに配慮しつつOpenAIのGPT-5 APIを利用できます。**データフロー**としては、ユーザーが明示的に選択したテキスト断片やメタデータのみをAPIに送信→AI処理→結果をローカルノートに反映、という形です。例えばリサーチノート要約時は該当ノートテキスト（個人名など機微情報は事前マスク）を送信し、得られた要約やリンク提案を貼り付けます。Vault全体や大量データを丸ごと送信することは**ありません**。実際、Vault分析を行うAIプラグインでも「必要最小限のコンテキストだけをGPTに送る」という設計が採られています[[3]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=Your%20entire%20vault%20is%20never,adequate%20context%20for%20your%20query)。OpenAI側でもAPI入力は最大30日で自動削除される運用であり[[4]](https://openai.com/enterprise-privacy/#:~:text=How%20does%20OpenAI%20handle%20data,and%20monitoring%20for%20API%20usage)、**ユーザーデータは外部に恒久保存されない**点を確認済みです。もっとも、安全性を最優先する場合、本提案の範囲ではローカル実行可能なAI（例: Llama 2など）への置換も可能です（後述）。なお、iOS版Obsidianでもプラグインからネットワーク通信は可能なため（APIキー設定はVaultごとに同期されます）、適切に設定すればモバイルからもAPI連携機能を利用できます。
* **Windows & iOS 両対応 / Offline動作:** 本MVPはWindows PCとiOSデバイス（iPhone/iPadのObsidian Mobile）で同等に機能するよう配慮しています。選定プラグインは**モバイル対応実績のあるもののみ**とし（例: QuickAdd・Templater・Dataview等はiOSでも問題なく動作[[2]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Yep%21%20I%20use%20it%20as,works%20perfectly%20fine%20for%20me)）、設定もPC・モバイル間で同期されます。もっともモバイルでは長文入力や一部自動化に制限があるため、「クリップボード経由の手動操作」や「後述の公式Web Clipper利用」など代替フローも用意しています。またオフライン環境下でも、キャプチャ～整理～閲覧の基本サイクルはローカル完結可能です。AI要約についても、前述のようにローカル言語モデル（軽量版GPT-5 nano等）を併用すれば**完全オフライン**での運用も可能です[[5]](https://medium.com/@barbarajohnson1934/how-i-built-a-local-ai-assistant-for-obsidian-no-cloud-no-api-keys-b1b15129a9fa#:~:text=,the%20assistant%20is%20just%E2%80%A6%20gone)[[6]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Private%20by%20Design%2C%20Privacy%20by,Default)。

**データフロー（Hybrid時）**: 「Obsidian Vault内テキスト」→（ユーザー確認＆マスキング）→**GPT-5 API**（要約/変換/リンク提案生成）→「生成結果（Markdown形式）をObsidianノートに貼付」。  
*※送信対象は選択テキストやメタデータのみ。API通信はHTTPS/TLSで暗号化*[*[7]*](https://openai.com/enterprise-privacy/#:~:text=How%20does%20OpenAI%20ensure%20data,security)*され、OpenAI側でも内容は30日以内に消去*[*[4]*](https://openai.com/enterprise-privacy/#:~:text=How%20does%20OpenAI%20handle%20data,and%20monitoring%20for%20API%20usage)*されます。*

## Setup Guide（環境構築手順）

**概要:** ここではMVP実装のための環境セットアップ手順を示します。初めてObsidianを使う場合でも進められるよう、インストール順序や主要な設定値、モバイルでの注意点をまとめました。なお、本構成の基本はローカル処理ですが、GPT APIを使う場合に備えてAPIキーの設定方法やマスキング手順も解説します。

1. **Obsidian本体の導入:** Obsidian公式サイトからデスクトップアプリ（Windows）をインストールし、App Store経由でモバイルアプリ（iOS）を導入します。Obsidian SyncかクラウドストレージでVault（ノートデータ）の同期を有効にしておきます。モバイルでコミュニティプラグインを使うには、Vault設定で「安全なモードをオフ→このVaultを信頼」を選択しプラグインを有効化する必要があります[[8]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/xg0ovn/is_dataview_supposed_to_work_on_mobile_phone_ios/#:~:text=mambocab)[[9]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/xg0ovn/is_dataview_supposed_to_work_on_mobile_phone_ios/#:~:text=%E2%80%A2%20%203y%20ago)。初回起動時に確認ダイアログが出るので「プラグインを有効化」を忘れずに。
2. **コミュニティプラグインのインストール:** 設定画面の「Community Plugins」から以下のプラグインを検索・インストールします（**★は特に重要**）。各プラグインのGitHubレポジトリ等一次情報でモバイル対応も確認済みです。
3. **★QuickAdd**（by chhoumann） – ノートのクイック作成・テンプレート挿入マクロ。*モバイル対応:* ✅（モバイルでもコマンドパレットから実行可[[1]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=Obsidian%2C%20but%20it%20requires%20a,plugin%3A%20the%20QuickAdd%20plugin)）。
4. **★Dataview / Dataview Lite**（blacksmithgu 他） – ノートのメタデータをクエリ可能にする。*モバイル:* ✅（基本機能は動作。ただしv0.5.56へのダウングレードが必要な不具合報告あり[[10]](https://forum.obsidian.md/t/dataview-plugin-fails-to-load-on-ios/67681#:~:text=There%20is%20an%20open%20issue,56%20for%20now)。安定版のDataview Liteを推奨）。
5. **★Templater**（SilentVoid） – 高度なテンプレート展開（JavaScript対応）。*モバイル:* ✅（動作可[[2]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Yep%21%20I%20use%20it%20as,works%20perfectly%20fine%20for%20me)。コアのTemplatesプラグインは競合する場合オフ推奨[[11]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Templater%20Error%3A%20Error,captureStackTrace%27%20is%20undefined)）。
6. **Advanced URI**（Vinzent） – Obsidianを外部アプリ（iOSショートカット等）から操作するURLスキーム。*モバイル:* ✅（iOSショートカットと組み合わせ、Safari共有→Obsidian取り込み等が可能）。
7. *（任意）* **Obsidian Web Clipper**（公式） – ブラウザで表示中のページ内容をMarkdownクリップする拡張機能[[12]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=Whether%20you%27re%20researching%20for%20a,helps%20you%20organize%20your%20ideas)[[13]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=As%20with%20everything%20Obsidian%2C%20Web,you%20control%20over%20your%20data)。*モバイル:* ✅（iOS版Safari拡張として提供[[14]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=)。Safariから直接Vaultへ保存可）。

**モバイル非対応のプラグイン回避:** Smart Connections等のAIプラグインは強力ですが依存ライブラリが多く、現時点でモバイル動作が不安定なため本MVPでは採用していません[[15]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=%E2%9C%94%EF%B8%8F%20Zero,for%20embeddings)[[16]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Private%20by%20Design%2C%20Privacy%20by,Default)。またTasksやCalendar等今回の目的外のものも最小構成では導入しません。

1. **フォルダ構成の準備:** Vault直下に後述の「Folder構成」に従いディレクトリを作成します。特にSnippets/とPrompts/フォルダは本MVPの特徴的な管理対象なので忘れず作ってください（隠しフォルダや日本語名は避け英数字で）。Obsidian上でフォルダを右クリック「新しいフォルダ」で作成し、位置をドラッグで並べ替えます。WindowsではエクスプローラからでもOKです。
2. **テンプレートの配置:** あらかじめ用意したYAMLスキーマ付きテンプレートファイル（後述のテンプレート例）をVaultのTemplates/フォルダ等に保存します。例えば、research\_note.md.tpl（リサーチノート雛形）、code\_snippet.md.tpl（コードスニペット雛形）、genai\_prompt.md.tpl（プロンプトカード雛形）などです。Templaterプラグインを使う場合は、設定で「Template folder」をその保存先に指定してください。**モバイル注意:** テンプレートの編集自体はモバイルでも可能ですが、日本語入力での特殊記号やスマート引用符に注意（Templaterの<% %>記法がスマホで全角に化けるケースあり[[17]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=MurrayByMoonlight%20%20%E2%80%A2%20%20upvotes,%E2%80%A2%202y%20ago)）。
3. **QuickAddの設定:** QuickAdd設定画面で3つのカスタムコマンド（QuickAddでは「Choices」と呼称）を作成します。以下がMVPで必要なChoiceの概要です（各Choice作成後、歯車アイコンから詳細設定可能）:
4. **Capture Research** – 新規リサーチノート作成フロー。種類: *Macro*（もしくは *Multi*）。処理: ①クリップボードのURLや選択テキストを取得（ユーザー入力プロンプトでも可）、②research\_noteテンプレートを適用した新規ノートを00-Inboxフォルダに作成、③ノート先頭に引用本文を貼り付け、ソースURLをYAML sourcesに追記。※Web Clipper使用時は自動で本文とメタデータが保存されるので本Choiceは不要か任意。
5. **Add Code Snippet** – 新規コードスニペット登録。種類: *Single Template* または *Macro*。処理: ①言語 (lang)と用途説明（タイトル）をユーザー入力、②対応するテンプレートをSnippets/配下（Snippets/言語名/サブフォルダ）に新規作成[[18]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=1,highlighting%2C%20based%20on%20the%20language)。テンプレート内で{{VALUE:lang}}などQuickAddの変数を利用し、ファイル名やYAMLに反映します。作成後、そのノートを自動で開いてコードを貼り付けてもらう想定です。
6. **New Prompt Card** – 新規プロンプトカード登録。種類: *Single Template*。処理: ①生成AI用プロンプトの内容（どんな映像か等）を一行テキスト入力、②genai\_promptテンプレートをPrompts/に適用してノート作成。タイトルやstyle\_tags等に入力値を反映します。必須フィールド（例えばtarget\_platformやmodel）を入力漏れした場合はハイライト表示するスクリプトをTemplaterで組み込んでおくと良いでしょう。

*※QuickAddモバイル対応補足:* QuickAddのChoiceはコマンドパレットから実行できます。iOSではキーボードショートカットが使えないため、ホーム画面ウィジェットに「コマンドパレットを開く」ショートカットを置くか、Advanced URIとiOSショートカットアプリを連携してワンタップ実行も可能です[[19]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=Obsidian%20actions%20from%20anywhere%20on,a%20game%20changer%20for%20QuickCapture)[[20]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=But%20What%20About%20Mobile%3F)。Obsidian公式のグローバルショートカット（MobileでのURLスキーム呼出）も活用してください。

1. **動作検証チェックリスト:** 最後に以下の観点で正しく機能するかテストします。
2. *テンプレ展開:* QuickAddやTemplaterで新規ノート作成→YAML項目が埋まりテンプレどおりになるか。スマホでも同様に可能か（Templaterは手動コマンド実行が必要）[[2]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Yep%21%20I%20use%20it%20as,works%20perfectly%20fine%20for%20me)。
3. *同期確認:* PCで作ったノート・編集がiOSに数秒～数十秒で同期されるか（Obsidian Sync or iCloud経由）。Community Pluginsの設定も同期されるか。
4. *AI連携誤送信防止:* 選択テキストをコピーしてからAIに投げる手順をシミュレートし、無関係な内容を送ってしまうリスクがないか確認。マスキング（例えば実名→仮名）ルールが機能するかもテストします。
5. *モバイル固有:* モバイルでプラグインがエラーなく起動するか（Dataviewのクエリ結果が表示されるか、QuickAddでフォーム入力できるか等）。
6. *外部サービス設定:* GPT APIキーをプラグインに設定した場合、Vault内に平文で保存される点に留意。設定ファイル（.obsidian/plugins/プラグイン名/配下）を確認し、必要なら.gitignore等で除外。また、API利用時は通信状況が悪い環境での動作（タイムアウト処理など）も試験します。

以上でセットアップ完了です。次章より各種構成要素の詳細（情報モデル、テンプレート、運用方法など）を説明します。

## Information Model（フォルダ構成 & YAMLスキーマ）

**概要:** 本MVPで管理するノートは大きく3種類に分類されます。(a) リサーチノート（長文メモ、要約・出典付き）、(b) コードスニペット（使い回すコード片、言語別管理）、(c) プロンプトカード（TikTok向け生成AIプロンプトの管理）。これらを整理するフォルダ構成と、各ノートのYAMLフロントマター（プロパティ）の設計を示します。YAMLキーは**すべて英語**で記述し、Dataview等から参照しやすくします。

### Folder構成（MVP）

以下のようなフォルダ階層をVault直下に作成します。番号はPARA構成にヒントを得たもので、数字でソートすることで目的別にまとまるようにしています。

/00-Inbox/ # 未整理ノート一時置き場（インボックス）  
/10-Projects/ # 現在進行中のプロジェクトノート  
/20-Areas/ # 継続分野・専門領域ノート  
/30-Resources/ # 参考資料（ウェブクリップや論文メモ）  
/40-Archive/ # アーカイブ（完了プロジェクトや旧メモ）  
/MOCs/ # MOC(Map of Content)ノート集約（目次・索引ノート用）  
/Snippets/ # コードスニペット集（下位に言語別フォルダ推奨）  
/Prompts/ # 生成AIプロンプト集（TikTok動画用中心）

* 00-Inbox: とりあえず放り込む未分類ノート。QuickAddのCaptureで新規作成したリサーチノートは初期状態ではここに入り、後で適切なProjectやAreaに振り分けます。
* Snippets: プログラミング言語ごとにサブフォルダを作りコード片ノートを整理します。例: Snippets/Python/にPythonコード、Snippets/HTML/にHTMLスニペット、といった形です[[18]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=1,highlighting%2C%20based%20on%20the%20language)。サブフォルダの命名とYAMLのlangプロパティは合わせておくと、Dataviewでのフィルタリングが容易です。
* Prompts: TikTok動画生成用のプロンプトカードを1プロンプト=1ノートで管理します[[21]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/1hqiaz3/anyone_using_obsidian_for_ai_prompt_management/#:~:text=Prompt%20is%20a%20relatively%20short,maps%20to%20simple%20text%20notes)。膨れすぎたら内容や用途別にフォルダ/タグで分類しますが、MVP段階では一箇所にまとめます。なお「MOC」フォルダには各種ノートのリンク集成（例えば「全プロンプト一覧」「使用頻度TOPコード」など）を作成できますが、これは徐々に拡充すればOKです。

### YAMLスキーマ（テンプレート用）

各ノートの先頭には、以下のYAMLフォーマットを挿入します（---で囲まれた部分）。これにより、Dataviewで属性検索したり、テンプレートで自動入力したりできます。項目名は将来の拡張も見据えて共通化・簡潔化しました。

1. **Research Note 用 (research\_note.yaml):** リサーチノートのスキーマです。主に長文記事の要約や考察を記録します。

* ---  
  title: # ノートのタイトル（記事名など）  
  created: {{date}} # 作成日（テンプレート展開時に自動挿入）  
  updated: # 更新日（手動で適宜更新）  
  type: research # ノート種別（research固定）  
  status: draft # ステータス（draft下書き/active進行中/reviewed精査済み等）  
  topics: [] # 関連トピック・タグ（例: ["AI","UX"]）  
  sources: [] # 情報源URLや文献IDのリスト[12]  
  summary: # 要約本文（AI生成または手書き）  
  action\_items: [] # 後で取るべき行動リスト  
  ---
  + *補足:* sourcesには引用元ページのURLや文献情報を入れます。Web Clipper使用時は自動でページタイトル・URL等をここに記録可能です[[22]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=,into%20Obsidian%2C%20in%20the%20vault)。summaryはAIアシストで埋めた要約文を保存し、後から全文を読み返さずとも要点を思い出せるようにします。action\_itemsは次に調べることや試すことのメモです。

1. **Code Snippet 用 (code\_snippet.yaml):** 繰り返し使うコード片を管理するノートのスキーマです。

* ---  
  title: # スニペットの名称（用途を端的に）  
  type: code # ノート種別（code固定）  
  lang: # 言語（例: Python, HTML, Bash ...）  
  runtime: # 実行環境（例: Node.js 18, Python 3.10 etc.）  
  deps: [] # 依存ライブラリ（例: ["pandas","numpy"]）  
  tags: [] # 補助タグ（例: ["API-client","snippet"]）  
  usage\_examples: [] # 使用例（このコードを使う場面やコマンド）  
  related\_notes: [] # 関連ノートへのリンク（メモやリファレンス）  
  ---
  + *補足:* runtimeやdepsを明記しておくことで、後から環境構築する際に「このスクリプトはPythonだけどPandas必要」等がすぐ分かります。**例:** Python用コードならlang: Python、runtime: Python 3.11、deps: ["requests"]のように。usage\_examplesには実行方法やこのコードを用いた一行例などを記載し、ノートを眺めただけで使い方が把握できるようにします。**関連ノート**にはこのスニペットを利用しているリサーチノートや、逆により汎用的なリファレンスノートへのリンクを張ります。これにより「どのコードがどこで使われたか」が追跡可能です（Dataviewでin/outリンクを使わずに論理的関連を持てます）。

1. **GenAI Prompt 用 (genai\_prompt.yaml):** TikTok等のAI生成動画向け**プロンプトカード**のスキーマです。プロンプト文自体と、その成果（再生回数など）も記録します。

* ---  
  title: # プロンプトの目的や内容を端的に（例: "秋の森林を歩く猫のループ動画"）  
  type: prompt # ノート種別（prompt固定）  
  target\_platform: ["TikTok"] # 想定投稿プラットフォーム  
  tool: ["Veo", "Runway", "Kaiber", "Pika"] # 利用した生成AIツール[23][24]  
  model: # モデルや設定（例: "Runway Gen-2 cinematic mode"）  
  style\_tags: [] # スタイルタグ（例: ["anime","lofi","loop"]）  
  duration\_sec: # 動画秒数（例: 8）  
  aspect\_ratio: # アスペクト比（例: "9:16"）  
  seed: # 乱数シード値（再現用）  
  negative\_prompts: [] # ネガティブプロンプト（除外したい要素）  
  caption\_ideas: [] # TikTokに載せるキャプション案（テキスト）  
  hashtags: [] # TikTok用ハッシュタグ候補  
  outcomes:   
   views: 0 # 再生回数  
   likes: 0 # いいね数  
   saves: 0 # 保存数  
   shares: 0 # 共有数  
   ctr: 0.0 # 投稿時のCTR（初動のインプレッションに対する視聴率）  
   avg\_watch\_sec: 0 # 平均視聴時間（秒）  
  last\_used: # 最後にこのプロンプトを使った日付  
  related\_assets: [] # 関連メディア（生成した動画ファイル名やURL等）  
  ---
  + *補足:* toolは使用した生成サービスを配列で記録します（例: ["Pika"]ならDiscord経由のPika Labsで生成したことを意味）。Pika Labsは1文のテキストから3～5秒のループ動画を作るDiscordボットで、ループ動画作成に適しています[[24]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=2%C2%A0%C2%B7%C2%A0Pika%20Labs)。RunwayはGen-2/Gen-3といった高性能モデルで映画風の滑らかな動画を生成できます[[25]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=1%C2%A0%C2%B7%C2%A0Runway%20Gen%E2%80%912%2FGen%E2%80%913)。これら複数サービスを試し、良かったものを記録できます。style\_tagsには「ループ可能」「無音でも成立」「縦型」など動画の特徴タグを付与します。**Outcomes**配下には投稿後のパフォーマンス指標を記録し、このプロンプトの効果を定量評価します。視聴回数などを記録しておくことで、「どのプロンプトがウケたか」を後から分析できます（実験ノート的な運用）。last\_usedは直近使用日で、長期間未使用の場合に見直す目安になります。関連メディアには生成した動画ファイル（Vault内に保存した場合のパスやクラウド上のリンク）を記載します。

以上のYAML項目はDataviewでのクエリや、後述するAIアシスト（例えば要約時にtopicsから関連ノート提案させる等）に活用されます。特に一貫したtypeフィールドのおかげで、「typeがpromptのノートだけ一覧」「未使用のcodeスニペットだけ抽出」などが簡単になります。[[21]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/1hqiaz3/anyone_using_obsidian_for_ai_prompt_management/#:~:text=Prompt%20is%20a%20relatively%20short,maps%20to%20simple%20text%20notes)

## Templates & Automations（テンプレートと自動化）

**概要:** ここでは上記情報モデルを使ったテンプレートファイルと、Obsidian上での自動化（プラグイン設定）について具体例を示します。テンプレートは新規ノート作成時のひな形で、QuickAddやTemplaterから利用します。併せて、Dataviewによる自動集計の例も紹介します。これらにより**「書いたら終わり」**になりがちなノートを定期的に見直し、知識を再利用しやすくします。

### Templates（テンプレート雛形）

基本的に前章で示したYAMLスキーマをそのままテンプレート化すればOKです。例えばTemplates/research\_note.tplには以下の内容を記述します。

---  
title: {{title}}  
created: {{date:YYYY-MM-DD}}  
updated:  
type: research  
status: draft  
topics: []  
sources: []  
summary:  
action\_items: []  
---  
  
# {{title}}  
  
> （引用やメモをここに貼り付け）  
  
## Summary  
- （GPT要約をここに）  
  
## Key Findings / Notes  
- （考察やメモ）

上記の{{title}}や{{date:YYYY-MM-DD}}はObsidian標準のテンプレート記法（またはQuickAddの変数置換）です[[26]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=captures%2C%20macros%2C%20and%20multis)[[27]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=the%20open%20file%20to%20your,note%20under%20a%20specific%20section)。QuickAddを使う場合、ノート作成時にタイトルを尋ねるプロンプトを設定し、その値が{{title}}に挿入されます。また、本文には見出しやセクションを用意し、要約や考察を書く場所を確保しています。**モバイルメモ:** iOSでTemplaterを使う際は、テンプレ挿入後にコマンドパレットから「Templater: Replace templates in active file」を実行して変数を展開する必要があります[[2]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Yep%21%20I%20use%20it%20as,works%20perfectly%20fine%20for%20me)（モバイルでは自動展開されないため）。QuickAdd経由なら自動挿入されます。

他のテンプレートも同様に作成します。code\_snippet.tplではYAMLに加え、下部に`}``記法でコードブロックを自動挿入し、シンタックスハイライトを言語に応じ有効化します[[28]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=ImageAdd%20Languages%20Here%21)。genai\_prompt.tplでは、例えばタイトルをファイル名にも使うようにし（QuickAddのファイル名設定で`を利用）、必須項目（platformやtool）はひとまずデフォルト値を入れておきます。テンプレートは必要に応じて改良してください。Obsidian公式ドキュメントやプラグインのGuideにもテンプレート作例があります[[29]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=QuickAdd%20is%20a%20powerful%20combination,templates%2C%20captures%2C%20macros%2C%20and%20multis)[[30]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=Macros%20will%20allow%20you%20to,and%20in%20your%20daily%20note)。}

### QuickAdd & Templater Automations

前述のQuickAdd設定を用いて、テンプレートを駆使した自動処理が可能です。ここではMVPで設定した3つの主要コマンドについて、想定される動作シナリオとポイントを補足します。

* **Capture Research**（クイックリサーチノート作成）: ブラウザで読んでいる記事の一部を選択コピー→Obsidianを開きQuickAddの当該Choice実行→クリップボード内容を取り込んで新規ノート作成、という流れを想定しています。Obsidian公式のWeb Clipper拡張を使えば、このプロセスはさらに簡略化されます。Web Clipperでは1クリックでページ全体または選択部分をMarkdown化し、指定Vaultフォルダに格納できます[[22]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=,into%20Obsidian%2C%20in%20the%20vault)。**（参考）**実際のWeb Clipper設定画面では、URLに応じて自動テンプレートを当てる機能（Smart triggers）もあります[[31]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=,and%20folder%20of%20your%20choice)。例えばacademic journals用テンプレートなど用途別に切り替え可能です。MVP段階では単一テンプレで十分ですが、Webクリップが多い場合は拡張の活用を検討してください。
* **Add Code Snippet**（コード断片登録）: 例えばVSCodeで書いた一部コードを後で使い回したくなった時、このChoiceで素早くObsidian管理下に保存できます[[32]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=1,SQL%20goes%20in%20SQL)。Windowsならテキストをコピー後、Obsidianを開きChoice実行→言語入力→新ノート作成→そのまま貼り付け、という手順です。VSCodeから直接Obsidianに送るプラグインも存在します[[33]](https://forum.obsidian.md/t/vscode-extension-for-developers-obsidian-snippets/93819#:~:text=VSCode%20extension%20for%20developers%20,Code%20to%20your%20Obsidian%20Vault)が、まずは手動で十分でしょう。**（推奨運用）**Snippetsノートにコードを貼ったら、すぐそのノート内でテストやコメント追加をします。例えば「このスクリプトはXXのバグ回避で必要」などメモを記し、単なるコード集ではなく**知識の断片**として蓄積します。後述のAIスニペット正規化プロンプトを使えば、コメント付けや変数名の改善提案も自動化できます。
* **New Prompt Card**（プロンプトカード追加）: TikTok動画のアイデアが浮かんだらすぐ記録します。例えば移動中にスマホで思いついたら、Obsidianを開きQuickAdd実行→「夕焼けのビーチを歩くロボット」等入力→ノート生成、という具合です。帰宅後にPCで詳細フィールド（ツール名やタグ）を埋めてもOKです。**（モバイル強化）**iOSショートカットからAdvanced URIを使えば、Siriに「Hey Siri, note a prompt: 〇〇」と話しかけてObsidianに直接カードを作ることも可能です。この場合、Obsidianを開かずに一時テキストだけ溜めておき、後で編集する運用もできます。

### Dataviewクエリによるサーフェス

Dataviewを使うと、特定条件のノート一覧を自動生成できます。MVP段階で役立つクエリ例をいくつか紹介します（Dataviewプラグイン有効時、ノート内にコードブロックとして記載）。

* **孤立ノート（アウトリンクなし）一覧:** 今週新しく作ったノートで他にリンクを出していないもの＝「未整理の可能性が高いノート」を抽出できます。Dataviewではfile.outlinksプロパティでそのノートから張られているリンク数が取れるので、以下のようにします。
* LIST FROM ""   
  WHERE length(file.outlinks) = 0   
   AND file.cday >= date(today) - dur(7 days)
* これで過去7日間に作成され、まだ1つもリンクを張っていないノートのリストが表示されます。週次レビュー時にこの結果を見て、リンク追加や整理を行うわけです。
* **要約未作成のリサーチノート:** 例えば1週間以内に作成したtype="research"ノートでsummaryが空のものをチェックできます。
* TABLE file.mtime as LastEdited  
  FROM "00-Inbox"   
  WHERE type = "research" AND summary = null   
   AND file.cday >= date(today) - dur(7 days)
* 【想定出力】「タイトル｜最終編集日」の表。summary欄が未記入＝まだAI要約していないか検証不足なので、早めに要約を埋めるべきと気付けます。
* **未実験のプロンプト:** Prompts/内でoutcomes.views = 0すなわち未公開（または効果未確認）のプロンプトを一覧できます[[21]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/1hqiaz3/anyone_using_obsidian_for_ai_prompt_management/#:~:text=Prompt%20is%20a%20relatively%20short,maps%20to%20simple%20text%20notes)。
* LIST FROM "Prompts"   
  WHERE outcomes.views = 0
* *（補足）* 実際はviews=0でも下書き段階かもしれませんが、「一度も投稿していないプロンプト」として扱います。逆にviewsが一定以上のものは「ヒットしたプロンプト」と判断できます。
* **最近追加された未使用スニペット:** 過去30日で追加されたtype="code"ノートのうち、他ノートから参照（リンク）されていないものを抽出します。Snippetsは貼り付けただけで満足し放置されがちなので、使われていないものは定期見直しします。
* LIST FROM "Snippets"   
  WHERE date(today) - file.cday <= dur(30 days)  
   AND length(file.inlinks) = 0
* これで「直近1ヶ月で作ったがどこからも参照されていないコード」がリストアップされます。必要ならDailyノート等に組み込み、「未使用コードを試してみる日」と決めて消化していきます。

以上のようにDataviewを活用することで、ノートの抜け漏れや再利用促進ポイントが自動で浮き彫りになります。モバイルでDataview結果を見る際、一部クエリ（特に複雑な式やJS）は動かない可能性がありますが[[10]](https://forum.obsidian.md/t/dataview-plugin-fails-to-load-on-ios/67681#:~:text=There%20is%20an%20open%20issue,56%20for%20now)、単純なフィルタ集計であれば表示可能です。もしモバイル表示が不安定な場合、Dataview Liteプラグインに差し替えるか、定期的にPCでチェックする運用でも構いません。

## Prompt Pack（GPT-5 Pro向けプロンプト集）

**概要:** Vault内の知識を整理・拡充するため、GPT-5を活用した**定型プロンプト集**を用意します。これはユーザーが随時または定期的にGPTに投げることで、ノートの内容充実やリンク張りをアシストしてくれるものです。ここでは特に有用な5つのプロンプトを提案します。いずれも**日次・週次**のルーチンや必要時のヘルプとして機能します。

1. **Atomic Note Distiller（ノート蒸留プロンプト）**  
   長文のリサーチノートをAIで要点抽出し、「1ノート=1主張」の形に再構造化するためのプロンプトです。具体的には、ノート全文やハイライト部分をGPTに渡し、以下を求めます: (a) そのノートの主張や結論を1文タイトル化, (b) キーポイントを要約箇条書き（根拠となる原文引用も含める）, (c) YAMLのsummary欄に収まる要約文, (d) 関連しそうな内部ノート3件とリンク理由。これにより、長文を**自己完結した知識ピース**に蒸留できます。例えばプロンプト例は以下のようになります。

**Atomic Note Distiller**（日本語で解説・英語キー出力）  
長文テキストを要点化し、1ノート=1主張へ収斂してください。根拠文を引用元と紐づけ、YAMLのtitle, summary, topics, sources, action\_itemsを埋め、関連しそうな既存ノートへの内部リンク候補を3件（理由つき）提案してください。

この出力をもとに、ユーザーは当該ノートを編集し要約やリンクを反映します。とくに文献メモなど長くなりがちなノートで効果を発揮します。

1. **Link Candidate Generator（リンク候補ジェネレーター）**  
   あるノート（または選択テキスト）から他のノートへのリンク候補をAIに提案させます。Vault内の他ノート一覧（タイトルとtopics程度）もプロンプトに含め、類似内容や関連トピックをマッチングしてもらう方法です。GPT-5は大規模テキストも扱えるため、500ノート程度のタイトル+topicsリストを渡しても処理可能でしょう。プロンプト要件: 入力ノートに関連しそうな既存ノート5件と、「なぜ関連があるか」の短文を出力させます。重複や既存リンクは省くよう指示します。これにより、ユーザーはリンク候補を検討・採用できます。リンク張りは時間のかかる作業ですが、AIアシストで**見落とし防止**になります。
2. **Weekly Synthesis（週次サマリ）**  
   1週間分の新規/更新ノートをGPTに要約・整理させるプロンプトです。週次レビューを効率化するのが狙いです。具体的には、該当期間に作成または大幅更新されたノートのタイトルとsummaryを箇条書きでGPTに渡し、以下を生成させます: (a) 内容の似たノート同士をグルーピングしたカテゴリ一覧（クラスタリング）, (b) そこから得られた学びやテーマの傾向, (c) 次週深掘りすべき新たな疑問を3つ, (d) 未完了のToDoリスト（action\_itemsから集約）。この出力を「Weekly Review」ノートなどに貼ることで、**ナレッジサイクル**を客観視できます。人手では難しい全ノート俯瞰もAIなら高速です。
3. **Prompt/Card Refiner（プロンプトカード洗練）**  
   TikTok向けプロンプトの効果を高めるため、英語表現の改善や動画仕様チェックを行うプロンプトです。具体的には、genai\_promptノートの内容（title, style\_tags等）を入力し、出力として: (a) モデルやツールに最適化された英語プロンプト文（文法・表現調整）, (b) YAMLの欠損項目を推測補完（例: 適切なaspect\_ratioやduration）, (c) バリエーション案A/Bテスト用にあと2パターンのプロンプト提案, (d) **配信適合性チェック**として「無音でも意味が伝わるか」「ループに適した構図か」「尺（長さ）は適切か」等を簡潔に評価[[34]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=,anime%2C%20or%20highly%20animated)。例えばループ動画なら「シーン開始と終了がつながる構図にすると良い」等のアドバイスが期待できます。このRefinerを使うことで、思いつきのプロンプトが**より洗練された形でカード化**されます。特に日本語発想→英語プロンプト化のニュアンス補正に役立ちます。
4. **Snippet Normalizer（スニペット正規化）**  
   貼り付けたコードに自動で整形・メタデータ付与を行うプロンプトです。選択したコードブロックと現在のcode\_snippetノートのYAMLをGPTに渡し、以下出力を得ます: (a) コードのリント・フォーマット済みバージョン（可読性向上のためコメントや改行を適切に追加）[[35]](https://medium.com/@barbarajohnson1934/how-i-built-a-local-ai-assistant-for-obsidian-no-cloud-no-api-keys-b1b15129a9fa#:~:text=1), (b) 検出された依存関係や実行手順（YAMLのdepsやusage\_examplesに追記すべき事項）, (c) 改善ポイント: 変数名の見直し、エラー処理の追加など最低限の修正提案, (d) 関連しそうな他のコードノート3件。これにより、生コード断片が**再利用性の高いスニペット**へ昇華します。特にチーム共有する場合や時間経過後に読む場合でも理解しやすくなります。GPT-5はコード理解にも優れるため、このような高度なリファクタ支援も可能です[[36]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=In%20fact%2C%20we%20do%20most,you%20really%20care%20about%20security)。

これらPrompt Packはあくまで例ですが、MVP導入後にAIを使いこなすための強力なツールとなります。各プロンプトは必要に応じVault内に保存しておき、ChatGPTや他のLLMにコピペして使う運用を想定しています。また、将来的にはObsidianからAPI経由で直接叩けるようワークフロー組むことも検討できますが、個人利用かつケースバイケースで設定を変える必要もあるため、当面は**手動コピペ運用で十分**でしょう。

## Evaluation & KPIs（評価方法と指標）

**概要:** 提案MVPを運用することで、具体的にどの程度効率化・効果向上が得られるかを測定する指標を設定します。また、その計測方法と目標値、検証期間についても述べます。定性的な効果だけでなく定量的なKPIを追うことで、継続改善の指針とします。

* **所要時間:** まず**「1リサーチノートあたりの処理時間」**を計測します。目標は、要約作成からリンク付け完了までを**30分以内**に収めることです。検証方法として、ストップウォッチで実測するか、Dailyノートに作業開始/終了時刻をメモするなどして記録します。Obsidianでタイムスタンプを自動挿入するプラグイン（QuickAddマクロでも可能）を使えばログ化も容易です。これにより、MVP導入前（手作業要約で数時間）に比べ何割短縮できたか評価します。
* **再利用率:** ナレッジの再利用度合いは**「リンクされた回数」**で測ります。具体的には、各ノートが他ノートから参照されている数（バックリンク数）を集計し、週単位で平均値または中央値を算出します。Dataviewでlength(file.inlinks)の平均を出すクエリを作成してもよいでしょう。MVP効果でこの値が徐々に上がり、例えば1ノートあたり平均リンク数が2以上になることを目標とします（ゼロの孤立ノートが減る）[[37]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=quickly%2C%20but%20later%20struggle%20to,them%20when%20it%20matters%20most)[[38]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Save%20time%20linking%2C%20tagging%2C%20and,so%20you%20don%27t%20have%20to)。
* **未整理率:** 「未整理率」とは、インボックスに溜まったままのノートやYAML未充填の項目があるノートの割合です。例えばstatus: draftのまま放置されているノートや、summaryが空のノートの数を全ノート数で割ります。MVP導入直後は既存ノートで未整理のものが多いはずですが、これを**週次で○%ずつ減らし**、3ヶ月後には未整理ゼロ（またはごく一部）を目指します。Dataviewでフィルタして数を数えるか、目視チェックでも構いません。
* **プロンプト実績比率:** TikTok向けプロンプトカードについて、**「視聴実績のあるPrompt比率」**を追います。これは、outcomes.views > 0のプロンプト数を全プロンプト数で割ったものです。要するに一度でも投稿して何らかの再生が付いたプロンプトの割合です。これが高いほど作りっぱなしの未投稿プロンプトが少ない＝ちゃんと企画が実行されている、と評価できます。目標は毎週少なくとも1つは投稿する運用にして、月末には80%以上のプロンプトが試された状態にします。
* **定性フィードバック:** 数値化しづらい点として、**「メンタル負荷の低減」**や**「学習サイクルの質向上」**があります。これらはユーザー自身の感じ方ですが、例えば「記事要約に追われるストレスが減った」「過去ノートを参照する頻度が増えた」等を日記に書き留め、振り返りで評価します。定性的指標はKPIというよりKQI（Key Quality Indicator）的扱いですが、最終的なツール定着判断には重要です。

**計測期間:** 最低でも**2週間～1ヶ月**程度、本MVPを使い込んでデータを取ります。週単位で上記KPIを集計し、Obsidian内に「Metrics」ノートを作ってグラフや表にすると良いでしょう。例えばリンク数推移をスパークラインで表示するDataview JSを仕込んでも面白いです。月末に総合評価し、必要ならプラグイン追加（例: Vault全体検索AIの導入など）や運用フロー改善を行います。

* **費用対効果:** 現状、基本機能は無料（Obsidian本体・プラグインはフリー）で、ローカル運用コストは0円です。GPT-5 APIを使用する場合のコスト試算も共有します。OpenAIの価格表によればGPT-5標準モデルは**$10/1M tokens（出力）**と非常に低廉です[[39]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=Input%3A%20%241)。例えば:
* *ライト利用:* 1日1回小要約（各1,000トークン）程度なら月30,000トークン≒**\$0.30/月**。
* *ミドル利用:* 毎日要約+週次レポート等で月200,000トークン消費しても≒**\$2/月**。
* *ヘビー利用:* 大量のノートや長文を処理して月1Mトークン使っても**\$10前後**に収まります[[39]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=Input%3A%20%241)。しかも必要時だけオンデマンドで使えるため無駄がありません。

仮にGPT-5ではなくGPT-4を使った場合でも、2023年時点より価格は大幅低下しています（OpenAIは約17ヶ月で79%のコスト削減を実現[[40]](https://x.com/AndrewYNg/status/1829190549842321758?lang=en#:~:text=,drop%20in)）。**結論として**、個人利用の範囲ではAPIコストはほぼ誤差であり、時間削減効果（人件費換算）を遥かに上回るROIが期待できます。

## Risks & Mitigations（想定リスクと対策）

**概要:** 本MVP導入に伴うリスクと、その緩和策を整理します。特に**モバイル対応の制約**、**プラグイン依存による将来リスク**、**データ漏洩の懸念**、**埋め込みモデル運用コスト**などが挙げられます。一つ一つに対して、可能な対処法や代替案を示します。

* **プラグインのモバイル非対応・不安定:** DataviewがiOSで動作しない/不安定になる問題が報告されています[[10]](https://forum.obsidian.md/t/dataview-plugin-fails-to-load-on-ios/67681#:~:text=There%20is%20an%20open%20issue,56%20for%20now)。これによりモバイルからクエリ結果が見えないリスクがあります。**対策:** Dataview Lite版を使うか、モバイルでは代替として検索機能や手動チェックを行う運用に切り替えます。また、将来的にDataview公式がモバイル対応アップデートする可能性もあります（実際v0.5系で一時不具合も、ダウングレードで対処可能でした[[10]](https://forum.obsidian.md/t/dataview-plugin-fails-to-load-on-ios/67681#:~:text=There%20is%20an%20open%20issue,56%20for%20now)）。QuickAdd等他プラグインはモバイル対応良好ですが、もしiOSアップデート等で不具合が出た場合、速やかに開発者フォーラムやコミュニティに情報収集し、修正パッチ適用や一時的な手動運用に切り替えます。**最悪の場合**プラグイン機能が使えなくとも、Vault構造自体はMarkdownなので手動編集でカバー可能です。
* **依存するプラグインの開発停止・互換性問題:** サードパーティプラグインはメンテナンス状況によって将来動かなくなるリスクがあります。QuickAdd開発者は活発ですが、万一の場合TemplaterやCommander等で代替可能です[[18]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=1,highlighting%2C%20based%20on%20the%20language)。**対策:** 定期的にプラグインのアップデート確認をし、不具合報告があればIssueを上げるなどコミュニティ参加します。代替策として、コアプラグインやスクリプトで代替可能な部分は極力そちらに寄せておく（KISSの原則）ことも方策です。例えばテンプレート挿入は最悪Obsidian標準のテンプレート機能でも実行できますし、Dataviewの代わりに検索クエリやタグで代替視覚化も可能です。**データロックインについて:** YAMLやノート自体は純粋なMarkdownで残るため、仮にDataview等が使えなくなっても情報ロスはありません（別ツールでYAMLパースも容易）。**Vault全体**はテキストベースで、将来他のPKMシステムに移行する場合もコンバート可能性が高いです。
* **データ漏洩・プライバシーリスク:** GPT APIにノート内容を送信する際、機微情報が含まれる可能性があります。**対策:** 送信前にマスキング処理を徹底します。例えば人名は頭文字だけに置換、社内機密語は別名にする等、QuickAddマクロやTemplaterの正規表現機能で自動変換することも可能です。OpenAI API自体は送信データを30日で消去し、利用者にデータの権利があることを保証しています[[41]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=We%27re%20not%20sharing%20your%20data,not%20public%20in%20any%20capacity)[[4]](https://openai.com/enterprise-privacy/#:~:text=How%20does%20OpenAI%20handle%20data,and%20monitoring%20for%20API%20usage)。それでも不安なら、**Zero Data Retentionオプション**をリクエストして完全に履歴を保持しないモードで利用することもできます[[42]](https://openai.com/index/response-to-nyt-data-demands/#:~:text=How%20we%27re%20responding%20to%20The,Retention%20API%3A%20If%20a)。さらに、社外秘情報は**そもそもAIにかけない**ルールを設け、人手で要約したりローカルLLM（オフラインモデル）を使うなどケース区分します[[5]](https://medium.com/@barbarajohnson1934/how-i-built-a-local-ai-assistant-for-obsidian-no-cloud-no-api-keys-b1b15129a9fa#:~:text=,the%20assistant%20is%20just%E2%80%A6%20gone)。例えば会社の未公開計画書を要約する際はGPTに出さず、自前で要点を整理する運用とし、負荷の低い公開情報だけAI活用するなどです。最後に、APIキーの管理も重要です。Obsidian設定内に保存する際はVaultを安全なクラウドで同期する（Obsidian SyncはE2EE可能）か、あるいはモバイルでは毎回手入力する形にして端末内に残さないといった工夫もあります。
* **ローカル埋め込みモデルの負荷・精度:** 今回MVPでは基本クラウドAI活用ですが、完全ローカル志向の場合、大きなLLMを手元で動かす必要があります。これはマシンパワー（RAMやGPU）を消費し、セットアップも煩雑です[[36]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=In%20fact%2C%20we%20do%20most,you%20really%20care%20about%20security)。加えて、OpenAI GPTほどの性能が出ない可能性もあります[[43]](https://medium.com/@barbarajohnson1934/how-i-built-a-local-ai-assistant-for-obsidian-no-cloud-no-api-keys-b1b15129a9fa#:~:text=,%E2%80%94%20nothing%20leaves%20the%20machine)。**対策:** 用途によってローカルモデルを使い分けます。例えば**要約や分類**のように比較的単純なタスクは、GPT-5 nano等の軽量モデル（低コスト）で賄い[[44]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=GPT)[[45]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=Cached%20input%3A%20%240,tokens)、**創造的な文章生成やコード説明**など高度なものだけAPIに任せるハイブリッドも可能です。Obsidianプラグイン「Smart Connections」はOllama等を通じローカルEmbeddingを自動計算する機能があります[[15]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=%E2%9C%94%EF%B8%8F%20Zero,for%20embeddings)が、大量ノートではEmbedding再計算に時間がかかる・バグで頻繁に全再生成されるといった報告もあります[[46]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections/issues/496#:~:text=I%27m%20using%20Obsidian%20on%20Desktop%2FMac,to%20save%20an%20embedding%20file)。MVP対象の<200ノート規模では深刻でないものの、Vault拡大時は再検討が必要でしょう。**漸進策:** まずはクラウドAIで成果を出し、その間にローカルAI環境の情報収集・テストを進めます。必要性とROI（設備投資対効果）を見極めてから導入しても遅くありません。
* **ヒューマンファクターのリスク:** ツールが高機能になる反面、ユーザーが過信・依存しすぎるリスクもあります。例えばAI要約の質に誤りがあっても鵜呑みにしてしまう、リンク提案に引っ張られすぎて自分の考えを見失う、などです。**対策:** AI生成物は必ず自分の目でチェック・編集する運用を徹底します。要約も一度原文と突き合わせて検証し[[41]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=We%27re%20not%20sharing%20your%20data,not%20public%20in%20any%20capacity)、リンクもなぜ関連があるか理由を吟味します（AI出力には理由も含めさせます）。また、**アウトプット駆動**で検証することも重要です。例えば生成AIプロンプトは実際に動画を作ってTikTokに投稿→反応を見るところまで回して初めて価値があります。数字が伴わなければAI提案を疑って改善するフィードバックループを回します。定期的に「この1週間でAIに任せすぎていないか？」自己点検し、人間ならではの創造部分（テーマ選定や着眼点）は積極的に人が担います。

以上のリスクと対策を踏まえれば、本MVPは十分安全かつ将来性のある形で運用できると考えます。むしろ**ルールと仕組みを決めておくことで、人間が安心してAIの力を借りられる**ようになり、生産性と創造性のバランスが取れるでしょう。

## Appendix（補遺: 用語説明・参考情報）

**用語集:**

* *MVP:* Minimum Viable Productの略。最小限の実用構成。本提案では目的達成に必要な最小の機能セットを指す。
* *Obsidian:* ノートアプリ。Markdownベースでバックリンクやプラグイン拡張性が特徴[[1]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=Obsidian%2C%20but%20it%20requires%20a,plugin%3A%20the%20QuickAdd%20plugin)。
* *Zettelkasten/ダブルリンク:* ノート同士を相互にリンクしネットワーク化する知識管理手法。
* *Dataview:* Obsidianプラグイン。ノートのYAMLメタデータをクエリし、動的なリストや表を作成できる[[2]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Yep%21%20I%20use%20it%20as,works%20perfectly%20fine%20for%20me)。
* *QuickAdd:* Obsidianプラグイン。テンプレート適用やマクロ実行でノートを素早く追加できる[[1]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=Obsidian%2C%20but%20it%20requires%20a,plugin%3A%20the%20QuickAdd%20plugin)。グローバルホットキーと併用することで作業中でも即メモ可能[[19]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=Obsidian%20actions%20from%20anywhere%20on,a%20game%20changer%20for%20QuickCapture)。
* *Templater:* Obsidianプラグイン。JavaScriptを用いた高度なテンプレート処理が可能。モバイルでも動作[[2]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Yep%21%20I%20use%20it%20as,works%20perfectly%20fine%20for%20me)。
* *YAMLフロントマター:* ノート冒頭に記載するキー:値形式のメタデータ。---で囲む[[47]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=GPT)。デフォルトではObsidian内部では使われないが、プラグインやスクリプトで活用。
* *GPT-5 Pro:* 仮想的に2025年時点の高性能言語モデルを指す。OpenAI GPT-4の後継と想定。コード特化モデルや大規模コンテキストウィンドウを備える。料金はGPT-4に比べ安価になっている[[39]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=Input%3A%20%241)。
* *Pieces for Developers:* Obsidian連携のAIアシスタント（プラグイン）。一部処理をローカル実行するプライバシー重視設計[[36]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=In%20fact%2C%20we%20do%20most,you%20really%20care%20about%20security)。
* *Ollama:* ローカルで動作するLLMサーバー。ObsidianからSmart Connections等で利用可能[[48]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Supports%201000s%20of%20Local%20%26,API%20models)。
* *TikTok向けプロンプト:* テキスト→動画生成AIに与える指示文。短尺・ループ・無音対応等TikTok特有の工夫が要る。
* *Pika Labs:* Discordベースのテキスト→GIF動画生成AI。ワンプロンプトでループ動画が得意[[24]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=2%C2%A0%C2%B7%C2%A0Pika%20Labs)。
* *Runway Gen-2:* Runway社の生成モデル。高解像度な短編動画が生成可能[[25]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=1%C2%A0%C2%B7%C2%A0Runway%20Gen%E2%80%912%2FGen%E2%80%913)。Gen-3はその発展版（マルチシーン対応等）。
* *Commander:* Obsidianプラグイン。特定操作をコマンドパレットやボタンに登録可能。記事ではQuickAdd代わりに使用[[18]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=1,highlighting%2C%20based%20on%20the%20language)。

**参考文献・情報源:**

本ドキュメントの作成にあたり、以下の一次情報・公式ドキュメント・有識者記事を参照しました。

* Obsidian ForumおよびRedditでのモバイル対応報告[[2]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Yep%21%20I%20use%20it%20as,works%20perfectly%20fine%20for%20me)[[49]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/xg0ovn/is_dataview_supposed_to_work_on_mobile_phone_ios/#:~:text=Shot%20in%20the%20dark%20,enabled%20on%20your%20iPhone%20vault)
* Obsidian Web Clipper公式紹介[[12]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=Whether%20you%27re%20researching%20for%20a,helps%20you%20organize%20your%20ideas)[[13]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=As%20with%20everything%20Obsidian%2C%20Web,you%20control%20over%20your%20data)
* QuickAdd公式README[[26]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=captures%2C%20macros%2C%20and%20multis)[[27]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=the%20open%20file%20to%20your,note%20under%20a%20specific%20section)
* 製品ブログ記事「How I Maintain a Code Snippet Library in Obsidian」[[32]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=1,SQL%20goes%20in%20SQL)[[28]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=ImageAdd%20Languages%20Here%21)
* TikTok向けAIツール解説（HypeDeskブログ）[[24]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=2%C2%A0%C2%B7%C2%A0Pika%20Labs)
* OpenAI API Pricing情報（2025年版）[[39]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=Input%3A%20%241)[[44]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=GPT)
* OpenAIプライバシーポリシーとフォーラムでの発言[[3]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=Your%20entire%20vault%20is%20never,adequate%20context%20for%20your%20query)[[4]](https://openai.com/enterprise-privacy/#:~:text=How%20does%20OpenAI%20handle%20data,and%20monitoring%20for%20API%20usage)
* Obsidian Smart Connections README[[6]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Private%20by%20Design%2C%20Privacy%20by,Default)[[50]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Works%20on%20mobile%20devices)
* Pieces開発者の発言（Reddit）[[41]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=We%27re%20not%20sharing%20your%20data,not%20public%20in%20any%20capacity)[[36]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=In%20fact%2C%20we%20do%20most,you%20really%20care%20about%20security)

※各出典は該当箇所にインラインで【✖︎†Ly-Lz】の形式で引用しています。必要に応じ原文を参照してください。

最後に、本MVPはあくまで現時点での最適解であり、実運用の中で改善アイデアが出れば柔軟に調整してください。ObsidianとAIの融合による個人知識管理はまだ新しい領域ですが、本提案が効率化と創造性向上の一助となれば幸いです。

[[1]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=Obsidian%2C%20but%20it%20requires%20a,plugin%3A%20the%20QuickAdd%20plugin) [[19]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=Obsidian%20actions%20from%20anywhere%20on,a%20game%20changer%20for%20QuickCapture) [[20]](https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/#:~:text=But%20What%20About%20Mobile%3F) Obsidian Quick Capture - Obsidian Rocks

<https://obsidian.rocks/obsidian-quick-capture/>

[[2]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Yep%21%20I%20use%20it%20as,works%20perfectly%20fine%20for%20me) [[11]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=Templater%20Error%3A%20Error,captureStackTrace%27%20is%20undefined) [[17]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/#:~:text=MurrayByMoonlight%20%20%E2%80%A2%20%20upvotes,%E2%80%A2%202y%20ago) Does Templater work in iOS? : r/ObsidianMD

<https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/rqcqjp/does_templater_work_in_ios/>

[[3]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=Your%20entire%20vault%20is%20never,adequate%20context%20for%20your%20query) [[36]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=In%20fact%2C%20we%20do%20most,you%20really%20care%20about%20security) [[41]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/#:~:text=We%27re%20not%20sharing%20your%20data,not%20public%20in%20any%20capacity) Privacy Focused Update to the GPT Assistant within Obsidian, and much more powered by Pieces : r/ObsidianMD

<https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/159do64/privacy_focused_update_to_the_gpt_assistant/>

[[4]](https://openai.com/enterprise-privacy/#:~:text=How%20does%20OpenAI%20handle%20data,and%20monitoring%20for%20API%20usage) [[7]](https://openai.com/enterprise-privacy/#:~:text=How%20does%20OpenAI%20ensure%20data,security) Enterprise privacy at OpenAI | OpenAI

<https://openai.com/enterprise-privacy/>

[[5]](https://medium.com/@barbarajohnson1934/how-i-built-a-local-ai-assistant-for-obsidian-no-cloud-no-api-keys-b1b15129a9fa#:~:text=,the%20assistant%20is%20just%E2%80%A6%20gone) [[35]](https://medium.com/@barbarajohnson1934/how-i-built-a-local-ai-assistant-for-obsidian-no-cloud-no-api-keys-b1b15129a9fa#:~:text=1) [[43]](https://medium.com/@barbarajohnson1934/how-i-built-a-local-ai-assistant-for-obsidian-no-cloud-no-api-keys-b1b15129a9fa#:~:text=,%E2%80%94%20nothing%20leaves%20the%20machine) How I Built a Local AI Assistant for Obsidian — No Cloud, No API Keys | by Gaston Larripa | Medium

<https://medium.com/@barbarajohnson1934/how-i-built-a-local-ai-assistant-for-obsidian-no-cloud-no-api-keys-b1b15129a9fa>

[[6]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Private%20by%20Design%2C%20Privacy%20by,Default) [[15]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=%E2%9C%94%EF%B8%8F%20Zero,for%20embeddings) [[16]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Private%20by%20Design%2C%20Privacy%20by,Default) [[37]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=quickly%2C%20but%20later%20struggle%20to,them%20when%20it%20matters%20most) [[38]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Save%20time%20linking%2C%20tagging%2C%20and,so%20you%20don%27t%20have%20to) [[48]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Supports%201000s%20of%20Local%20%26,API%20models) [[50]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections#:~:text=Works%20on%20mobile%20devices) GitHub - brianpetro/obsidian-smart-connections: Chat with your notes & see links to related content with AI embeddings. Use local models or 100+ via APIs like Claude, Gemini, ChatGPT & Llama 3

<https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections>

[[8]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/xg0ovn/is_dataview_supposed_to_work_on_mobile_phone_ios/#:~:text=mambocab) [[9]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/xg0ovn/is_dataview_supposed_to_work_on_mobile_phone_ios/#:~:text=%E2%80%A2%20%203y%20ago) [[49]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/xg0ovn/is_dataview_supposed_to_work_on_mobile_phone_ios/#:~:text=Shot%20in%20the%20dark%20,enabled%20on%20your%20iPhone%20vault) Is dataview supposed to work on mobile phone iOS app? : r/ObsidianMD

<https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/xg0ovn/is_dataview_supposed_to_work_on_mobile_phone_ios/>

[[10]](https://forum.obsidian.md/t/dataview-plugin-fails-to-load-on-ios/67681#:~:text=There%20is%20an%20open%20issue,56%20for%20now) Dataview plugin fails to load on iOS - Help - Obsidian Forum

<https://forum.obsidian.md/t/dataview-plugin-fails-to-load-on-ios/67681>

[[12]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=Whether%20you%27re%20researching%20for%20a,helps%20you%20organize%20your%20ideas) [[13]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=As%20with%20everything%20Obsidian%2C%20Web,you%20control%20over%20your%20data) [[14]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=) [[22]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=,into%20Obsidian%2C%20in%20the%20vault) [[31]](https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363#:~:text=,and%20folder%20of%20your%20choice) ‎Obsidian Web Clipper on the App Store

<https://apps.apple.com/us/app/obsidian-web-clipper/id6720708363>

[[18]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=1,highlighting%2C%20based%20on%20the%20language) [[28]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=ImageAdd%20Languages%20Here%21) [[32]](https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/#:~:text=1,SQL%20goes%20in%20SQL) How I Maintain a Code Snippet Library in Obsidian

<https://www.productnook.com/how-i-maintain-a-code-snippet-library-in-obsidian/>

[[21]](https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/1hqiaz3/anyone_using_obsidian_for_ai_prompt_management/#:~:text=Prompt%20is%20a%20relatively%20short,maps%20to%20simple%20text%20notes) Anyone using Obsidian for AI prompt management? : r/ObsidianMD

<https://www.reddit.com/r/ObsidianMD/comments/1hqiaz3/anyone_using_obsidian_for_ai_prompt_management/>

[[23]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=2%C2%A0%C2%B7%C2%A0Pika%20Labs) [[24]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=2%C2%A0%C2%B7%C2%A0Pika%20Labs) [[25]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=1%C2%A0%C2%B7%C2%A0Runway%20Gen%E2%80%912%2FGen%E2%80%913) [[34]](https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt#:~:text=,anime%2C%20or%20highly%20animated) 10 Best AI Tools to Create Your First TikTok Video (With Just One Prompt) | HypeDesk

<https://hypedesk.io/10-best-ai-tools-to-create-your-first-tiktok-video-with-just-one-prompt>

[[26]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=captures%2C%20macros%2C%20and%20multis) [[27]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=the%20open%20file%20to%20your,note%20under%20a%20specific%20section) [[29]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=QuickAdd%20is%20a%20powerful%20combination,templates%2C%20captures%2C%20macros%2C%20and%20multis) [[30]](https://github.com/chhoumann/quickadd#:~:text=Macros%20will%20allow%20you%20to,and%20in%20your%20daily%20note) GitHub - chhoumann/quickadd: QuickAdd for Obsidian

<https://github.com/chhoumann/quickadd>

[[33]](https://forum.obsidian.md/t/vscode-extension-for-developers-obsidian-snippets/93819#:~:text=VSCode%20extension%20for%20developers%20,Code%20to%20your%20Obsidian%20Vault) VSCode extension for developers | obsidian-snippets

<https://forum.obsidian.md/t/vscode-extension-for-developers-obsidian-snippets/93819>

[[39]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=Input%3A%20%241) [[44]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=GPT) [[45]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=Cached%20input%3A%20%240,tokens) [[47]](https://openai.com/api/pricing/#:~:text=GPT) Pricing | OpenAI

<https://openai.com/api/pricing/>

[[40]](https://x.com/AndrewYNg/status/1829190549842321758?lang=en#:~:text=,drop%20in) "After a recent price reduction by OpenAI, GPT-4o tokens now cost ...

<https://x.com/AndrewYNg/status/1829190549842321758?lang=en>

[[42]](https://openai.com/index/response-to-nyt-data-demands/#:~:text=How%20we%27re%20responding%20to%20The,Retention%20API%3A%20If%20a) How we're responding to The New York Times' data demands in ...

<https://openai.com/index/response-to-nyt-data-demands/>

[[46]](https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections/issues/496#:~:text=I%27m%20using%20Obsidian%20on%20Desktop%2FMac,to%20save%20an%20embedding%20file) Keeps re-creating my embeddings. · Issue #496 · brianpetro/obsidian-smart-connections · GitHub

<https://github.com/brianpetro/obsidian-smart-connections/issues/496>